

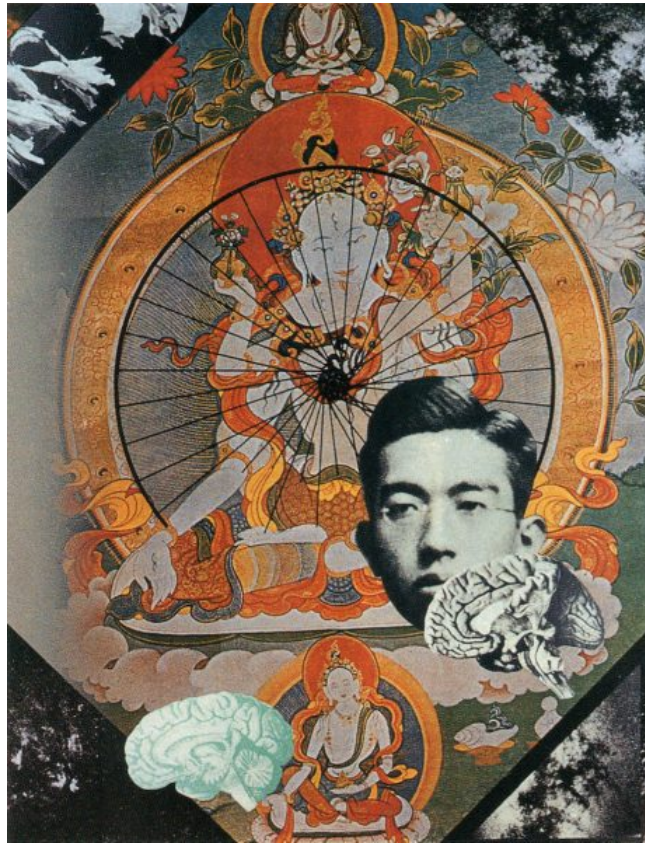
表現の不自由展・その後

Statement

Artists

Events

表現の不自由展・その後



大浦信行

OURA Nobuyuki

遠近を抱えて (4点組)

1982~83年

Holding Perspective

1947年富山県 (日本) 生まれ

川崎市 (日本) 拠点

本作は1975年から10年間ニューヨーク滞在中に制作され、1986年、富山県立近代美術館主催「86富山の美術」で展示される。1993年、大浦は制作の意図を次のように語った。

「自分から外へ外へ拡散していく自分自身の肖像だろうと思うイメージーションと、中へ中へと非常に収斂していく求心的な天皇の空洞の部分、そういう天皇と拡散していくイメージーションとしての自分、求心的な収斂していく天皇のイメージーション、つくり上げられたイメージーションとしての天皇と拡散する自分との二つの攻めぎあいの葛藤の中に、一つの空間ができて上がるのではないかと思ったわけです。それをそのまま提出することで、画面の中に自分らしきものが表われる

のではないかと思ったのです。」(大浦信行「自分自身の肖像画として—作家の立場から」、1993年6月6日、富山近代美術館問題を考えるシンポジウム)

本作は展覧会終了後、県議会で「不快」などと批判され、地元新聞も「天皇ちやかし、不快」などと報道し、右翼団体の抗議もあり、図録とともに非公開となる。93年、美術館は作品売却、図録470冊全て焼却する。その後、6年越して争った作品公開と図録再版の裁判も敗訴する。2009年沖縄県立博物館・美術館「アトミックサンシャインin沖縄」でも展示を拒否されている。

事件後、大浦は映像作品のなかで「遠近を抱えて」の図像を繰り返し用いる。本展覧会を契機に制作された『遠近を抱えて PartII』においては、作品を燃やすシーンか戦争の記憶にまつわる物語のなかに挿入され、観る者に「遠近を抱える」ことの意味をあらためて問うものになっている。(小倉利丸)

perspective), June 6th, 1993, a comment made at Toyama ken kindai bijutsukan mondai wo kangaeru simpojiumu (the symposium to reconsider the incident of The Museum of Modern Art, Toyama).

After the exhibition had finished, the work was criticised as being “unpleasant” at a prefectural assembly, and local newspapers reported how it was “unpleasant, making fun of the emperor.” Right-wing parties made protests, and the work and catalogue became undisclosed. In 1993, the museum sold the work, and incinerated all 470 copies of the catalogue. Over six years, OURA fought for the artwork to be shown in public and the catalogue to be reprinted in court, however, lost the case. The work was also rejected to be exhibited in the exhibition Into the Atomic Sunshine in Okinawa, in Okinawa Prefectural Museum and Art Museum in 2009.

OURA has repeatedly used images of Holding Perspective in his video works since the incident. Holding Perspective Part II is a new work he created for this exhibition, which features a story related to the memory of war. Within the story, a scene of burning an artwork is inserted, which once again questions the viewers what it means to “hold a perspective” within oneself.

(OGURA Toshimaru)

主な発表作品

1997	第2回エジプト国際版画トリエンナーレ展（エジプト）
1993	マストリッツ国際グラフィックビエンナーレ展（オランダ）
1989	バルナ国際版画ビエンナーレ展（ブルガリア）
1985	第16リュブリアナ国際版画ビエンナーレ展（スロベニア）
1987	第7回クラコウ国際版画ビエンナーレ展（ポーランド）



表現の不自由展・その後実行委員会



©表現の不自由展・その後実行委員会